

# スポーツにおいて期待に応えようとする子どもの意識について —サッカークラブに着目して—

藤原 裕司 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：親，子供，期待度

## 1. 諸言

ここ最近,子どもの体力の低下が問題である.外で遊ぶ子どもも少なくなっており,親が子どもにスポーツをさせることは珍しくない.そんな中,親が子どもにスポーツをさせる意識と,また,子どもが自らはじめる意識の間には,違いがあると考える.親の期待感に対して,子どもが気づき,それに応えようとする意識を明らかにする.そのことは,子どもの体力低下の抑制,体力向上,子どものスポーツに対する意識の向上につながると思われる.

また,2020年東京オリンピックに向けて子どもが持っている意識にも着目し,親の期待と子どもの意識の違いを明らかにする.それは,未来のオリンピック選手の育成やこれからの日本のスポーツの発展に役立つと考えられる.

そこで本研究では,中学生の年代でサッカークラブに所属している子どもが,親の期待に応えようとする意識を明らかにし,クラブチーム指導者に役立つ参考資料を作成するものである.

## 2. 研究方法

課外活動としてサッカークラブに所属している中学生 40名にアンケート調査を行う.

## 3. 結果

「親からサッカーでの高校進学への期待を感じますか」「親からプロサッカー選手になることへの期待を感じますか」の結果から,半分以上の子どもが期待を感じていない.また,「チームスタッフからの期待を感じますか」の結果も,半分以上が期待を感じていない.しかし,「親

からの期待(人間性・プロ・高校進学)を感じますか」の結果では,半分以上の子どもが感じている.「クラブチームに入って目標ができましたか」について,大半の子どもが目標を持っている.

## 4. 結論

スポーツをしている子どもが期待を感じ,応えようとする彼らの意識について知ることができた.

スポーツクラブに限定した調査を行ったため,中学の運動部活動との比較ができていないため今後比較していきたい.この研究結果が,これからの子どものスポーツの発展と向上に活かせるのではないかと考える.また,より良いスポーツ環境づくりのために,クラブチーム指導者の参考資料になるのではないかと考える.

## 5. 引用・参考文献

文部科学省 運動部活動の意義.

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpad199801/hpad199801\\_2\\_051.html](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpad199801/hpad199801_2_051.html)